

平成 27 年 2 月 3 日

JRR-3 をご利用の皆様へ

JRR-3 の運転再開に向けての取り組み状況について

日頃から当部の研究炉 JRR-3 に格別のご高配を賜り、深く感謝いたします。

JRR-3 は 3. 11 東日本大震災の影響を受けて運転を停止しています。原子力機構(JAEA)では、早期運転再開を目指して、原子力規制庁と原子力規制委員会に対して新規制基準適合に係る審査対応を継続的に行っています。平成 27 年 1 月末現在の状況をご報告します。

1. 新規制基準

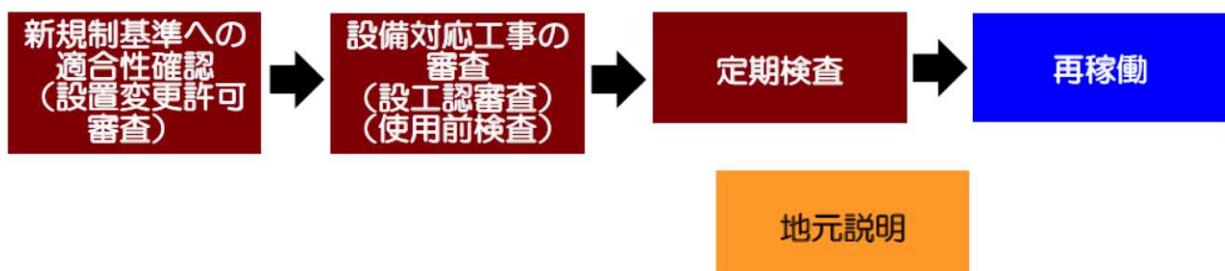
新規制基準においては、主として、以下のように設計要求が強化されている。

- 耐震設計用地震動の設定(歴史的最大地震の敷地近傍での発生を想定)
- 上記地震動による津波を設定
- 竜巻、森林火災、火山による影響の評価
- 火災防護(ケーブルの難燃化等)
- 環境放射線モニタリング設備の無停電化と伝送系の多様化
- 外部への通信連絡設備の信頼性
- BDBA(設計基準外事故)の評価及びそれへの対処

JRR-3 は新規制基準への対応として環境での放射線量、放射性物質濃度を監視するための環境放射線モニタリング設備を除き、特段の設備対応を講ずることなく適合性は確保されています。環境放射線モニタリング設備に対しては、伝送系の多様化要求への対応が必要です。この対応は JRR-3 の定期検査期間中に実施できる見込みであり、これが再稼働の足枷になることはありません。

2. 再稼働に向けた規制プロセス

再稼働に至るまでの規制対応は下記の手順となります。



3. 現在の状況

JRR-3 は新規制基準への適合性確認のために原子力規制委員会に対して、原子炉設置変更許可の申請を平成 26 年 9 月 26 日に行いました。

現在は、原子力規制委員会による新規制基準適合性に係る審査の対応として、ヒアリングおよび審査会合を適宜進めています。

4. 新規制基準適合性に係る審査会合の実施状況

新規制基準への適合性に係る審査会合は下記の日程で実施済みです。なお、審査会合の状況につきましては、原子力規制委員会のホームページ (<http://www.nsr.go.jp/>) において公開されております。

●審査会合の実施日

- 第 1 回 平成 26 年 10 月 15 日
- 第 2 回 平成 26 年 10 月 29 日
- 第 3 回 平成 26 年 11 月 25 日
- 第 4 回 平成 26 年 12 月 24 日
- 第 5 回 平成 27 年 1 月 30 日

JRR-3 は平成 27 年度内の運転再開を目指して審査対応を行っていますが、規制当局の適合性確認の期間等については現段階で明確ではありません。

今後も JRR-3 運転再開に向けた状況については、随時、JRR-3 ユーザーズオフィスホームページ等において情報を発信してまいります。ご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけし申し訳ございませんが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

独立行政法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所 研究炉加速器管理部長
村山 洋二